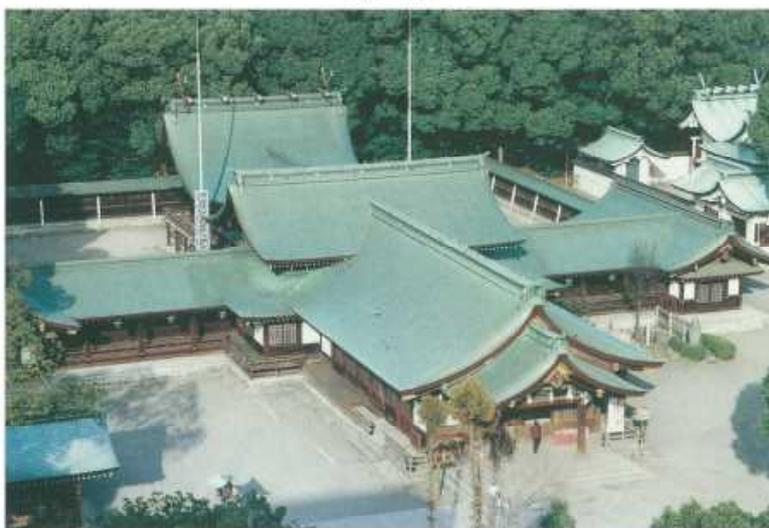


中小企業景況調査報告書

2023年度第3・四半期（10～12月）

真清田神社



Matsumoto Shrine

目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移 前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（99社）	5
景況の推移業種別集計表 前期比	6
「直面している経営上の問題点」の集計表（業種別上位3位）	7
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	8～10
前年同期比のグラフ（各項目）	11～14

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 99事業所
- V. 調査対象企業
の業種 次の表のとおり

景況調査対象事業所（99）の内訳

業 種	事業所数
建設業	12
製造業	29
卸売業	10
小売業	18
サービス業	30
合 計	99

- VI. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
- | |
|---------|
| 1位3ポイント |
| 2位2ポイント |
| 3位1ポイント |

今 期 の 概 況

小売・サービス業を中心に景況感は後退、
来期は資金繰り等改善見込みも業況は厳しい見通し

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI値で前期実績を下回った。

来期は、資金繰り、従業員のDI値で今期実績を上回り、採算のDI値で横ばい、業績、売上のDI値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲11.3から▲18.2(6.9ポイント減)となり、来期は▲26.3(8.1ポイント減)となる見通し。
- 売上DI値は、前期実績11.3から2.0(9.3ポイント減)となり、来期は▲7.1(9.1ポイント減)となる見通し。
- 採算DI値は、前期実績▲22.7から▲28.3(5.6ポイント減)となり、来期は▲28.3(横ばい)となる見通し。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲10.3から▲13.1(2.8ポイント減)となり、来期は▲10.1(3.0ポイント増)となる見通し。
- 従業員DI値は、前期実績9.3から3.0(6.3ポイント減)となり、来期は5.1(2.1ポイント増)となる見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表4、5参照)は、業況、売上のDI値で前期実績を上回り、資金繰りのDI値で前期実績を下回った。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲13.4から▲11.1(2.3ポイント増)となった。
- 売上DI値は、前期実績▲8.2から▲4.0(4.2ポイント増)となった。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲12.4から▲13.1(0.7ポイント減)となった。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(25件、20事業所)に比べ、件数、事業所数ともに増加している。

- ① 今期の実績(表3参照)は31件(22事業所)。その主な内訳は、『OA機器』8件、『生産設備』7件、『車両・運搬具』5件となっている。
- ② 来期の計画(表3参照)は34件(25事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』12件、『工場建物』『車両・運搬具』各6件、『OA機器』5件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表6参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『仕入等単価の上昇』、『需要の停滞』、『従業員の確保難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A社（製造業〈織物製造〉）

市況の回復と原料相場の安定により、ここ半年増収増益で推移しており、当面はこのまま維持できそうである。ただし、今後は外注加工先の廃業が続き、生産高を確保することが難しくなることが予想され、内製化も視野に入れなければならない時期が来ると予測している。

B社（製造業〈婦人服地製造〉）

残暑が長引き秋物の売上が伸び悩み、追加受注が無かった。サプライチェーンの高齢化、人手不足、設備の老朽化が深刻で、短納期で追加生産できるだけの馬力が無くなってきている。

C社（建設業〈空調、管工事〉）

受注、引合いとも順調で完成工事高は維持できている。ただし、材料の高騰が続いており、受注時の見積もりとの差額が想像を超えており、利益に結びつかない。

D社（卸売業〈水産ネット卸売〉）

中国による日本産水産物の輸入禁止の影響で、水産ネットの需要が減ったことで、当社の販売にも影響が出ている。今のところ当社の業績に大きな影響を及ぼしているレベルではないものの、先行きを懸念している。

E社（小売業〈サンドイッチ小売〉）

新規のお客様が増えており売上の増加傾向が続いている。商品の値上げはせず、この先も予定していない。今夏の猛暑など異常気象の影響で野菜の価格高騰で、仕入価格が上がり利益率が下がっている

F社（サービス業〈飲食業〉）

チーズやパスタなどメインとなる食材をヨーロッパからの輸入に頼っている。為替の影響を受けやすく、円安が続き利益が圧迫されている。

G社（サービス業〈飲食業〉）

コロナが明け客数や売上は少しずつ戻ってきてはいるが、コロナ前に比べるとまだ7~8割である。物価高、人件費の上昇に対する価格転嫁は進んでいない。

景況の推移

表 1

～ 前年同期比～

	R4. 10～12月	R5. 1～3月	R5. 4～6月	R5. 7～9月	今 期 R5. 10～12月	来期の見通し R6. 1～3月
業 況	▲ 4.0	▲ 5.0	▲11.1	▲11.3	▲18.2	▲26.3
売 上	12.0	16.0	10.1	11.3	2.0	▲ 7.1
採 算	▲25.0	▲27.0	▲27.3	▲22.7	▲28.3	▲28.3
資金繰り	▲21.0	▲15.0	▲15.2	▲10.3	▲13.1	▲10.1
従 業 員	▲12.0	▲ 9.0	1.0	9.3	3.0	5.1

業種別集計表 ～ 前年同期比 ～

表 2

	事業所数	12	29	10	18	30	99	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	2 (0)	9 (5)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	14 (6)	▲ 18.2 (▲26.3)
	不変	10 (11)	10 (11)	6 (5)	10 (12)	17 (22)	53 (61)	
	悪化	0 (1)	10 (13)	4 (5)	7 (6)	11 (7)	32 (32)	
売上	増加	4 (3)	10 (4)	5 (2)	4 (4)	10 (8)	33 (21)	2.0 (▲7.1)
	不変	7 (7)	9 (15)	1 (3)	7 (9)	11 (16)	35 (50)	
	減少	1 (2)	10 (10)	4 (5)	7 (5)	9 (6)	31 (28)	
採算	好転	2 (0)	7 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	11 (6)	▲ 28.3 (▲28.3)
	不変	5 (10)	10 (14)	6 (5)	11 (11)	17 (19)	49 (59)	
	悪化	5 (2)	12 (11)	3 (4)	6 (6)	13 (11)	39 (34)	
資金繰り	好転	1 (1)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	6 (6)	▲ 13.1 (▲10.1)
	不変	11 (11)	17 (20)	9 (8)	14 (14)	23 (24)	74 (77)	
	悪化	0 (0)	8 (6)	1 (2)	4 (4)	6 (4)	19 (16)	
従業員	増加	3 (2)	7 (8)	0 (1)	0 (1)	7 (4)	17 (16)	3.0 (5.1)
	不変	9 (10)	19 (20)	9 (8)	15 (15)	16 (19)	68 (72)	
	減少	0 (0)	3 (1)	1 (1)	3 (2)	7 (7)	14 (11)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表

表 3

設備投資	今期	実施した ※1	22	来期	計画している ※2	25
	(事業所数)	実施していない	77	(事業所数)	計画していない	74

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土地	2 件	0 件	5. 付帯施設	4 件	3 件
2. 工場建物	3 件	6 件	6. O A 機器	8 件	5 件
3. 生産設備	7 件	12 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	5 件	6 件	8. その他	2 件	2 件
			合計	31 件	34 件

複数回答可

景況の推移

表 4

～ 前 期 比 ～

	R4.10～12月	R5.1～3月	R5.4～6月	R5.7～9月	今 期 R5.10～12月
業 況	▲ 9.0	▲10.0	▲10.1	▲13.4	▲11.1
売 上	5.0	▲ 8.0	14.1	▲ 8.2	▲ 4.0
資金繰り	▲16.0	▲10.0	▲14.1	▲12.4	▲13.1

業種別集計表

表 5

～ 前 期 比 ～

	事業所数	12	29	10	18	30	99	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1	6	0	1	1	9	▲ 11.1
	不 変	10	17	6	14	23	70	
	悪 化	1	6	4	3	6	20	
売 上	増 加	0	9	2	5	8	24	▲ 4.0
	不 変	10	12	2	9	14	47	
	減 少	2	8	6	4	8	28	
資 金 繰 り	好 転	1	2	0	0	1	4	▲ 13.1
	不 変	10	24	8	12	24	78	
	悪 化	1	3	2	6	5	17	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 6

(業種別上位3位)

業 種	順位	内 容		
		1 位	2 位	3 位
建設業		○従業員の確保難	○材料価格の上昇	○民間需要の停滞
製造業		○原材料価格の上昇	○需要の停滞	○生産設備の不足・老朽化
卸売業		○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○人件費以外の経費の増加
小売業		○仕入単価の上昇	○消費者ニーズの変化への対応	○人件費以外の経費の増加
サービス業		○材料等仕入単価の上昇	○人件費の増加	○従業員の確保難

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	2
材料価格の上昇	13
材料の入手難	2
人件費の増加	5
材料費・人件費以外の経費の増加	2
請負単価の低下・上昇難	5
下請単価の上昇	5
金利負担の増加	1
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	16
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	3
官公需要の停滞	4
民間需要の停滞	6
その他	0
	0
合 計	66

製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	3
生産設備の不足・老朽化	21
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	45
原材料の不足	8
人件費の増加	19
原材料費・人件費以外の経費の増加	15
製品(加工)単価の低下・上昇難	12
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	7
熟練技術者の確保難	7
需要の停滞	26
その他 (協力会社の倒産・廃業)	2
合 計	167

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	1
人件費の増加	2
人件費以外の経費の増加	9
販売単価の低下・上昇難	3
仕入単価の上昇	11
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	1
需要の停滞	17
その他	0
合 計	51

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	1
同業者の進出	1
購買力の他地域への流出	5
消費者ニーズの変化への対応	18
店舗の狭隘・老朽化	9
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	2
人件費の増加	10
人件費以外の経費の増加	11
販売単価の低下・上昇難	9
仕入単価の上昇	21
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	5
需要の停滞	1
その他 (ネット販売、商店街の衰退)	3
合 計	101

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

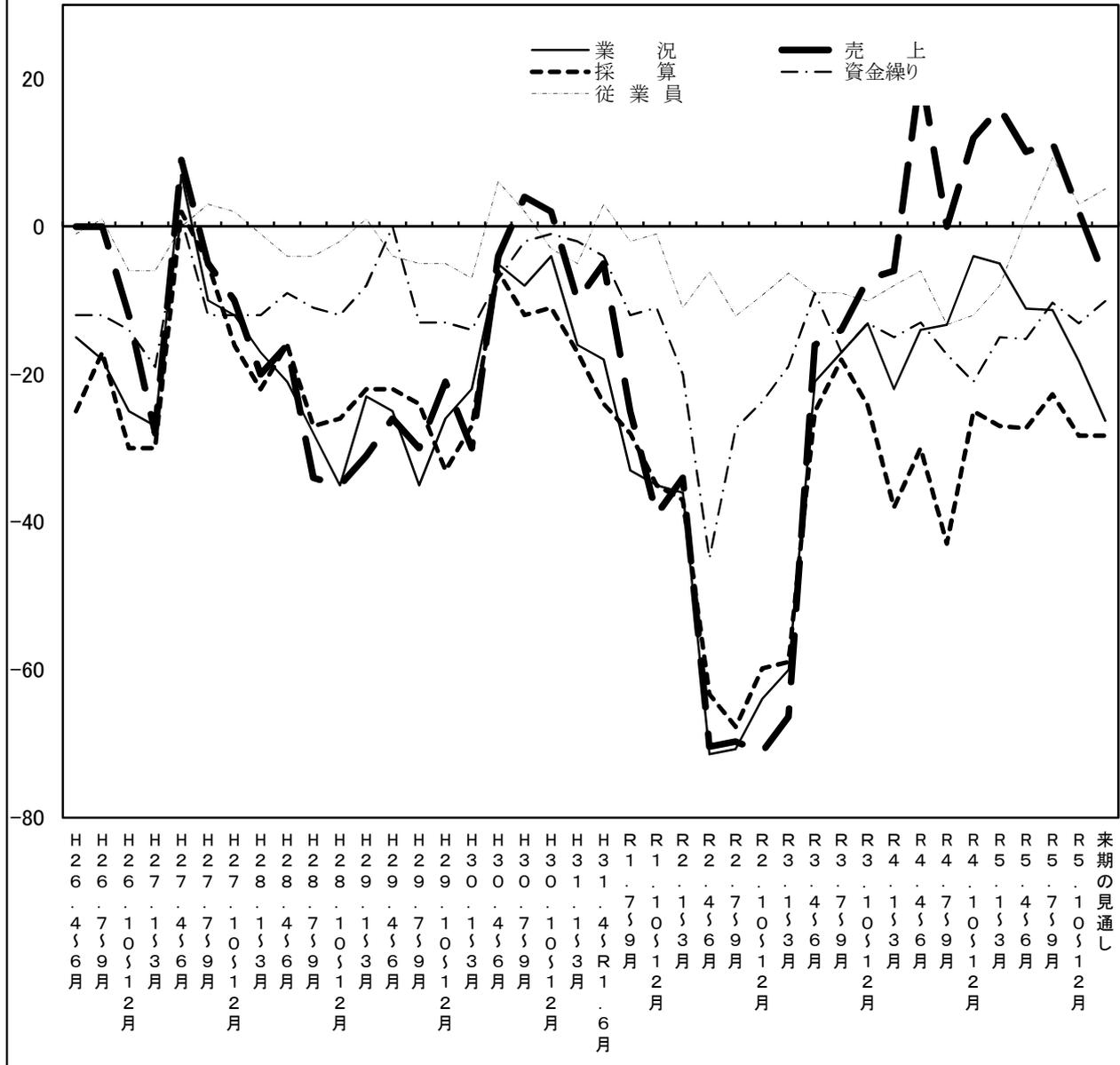
『直面している経営上の問題点』の集計表

サービス業

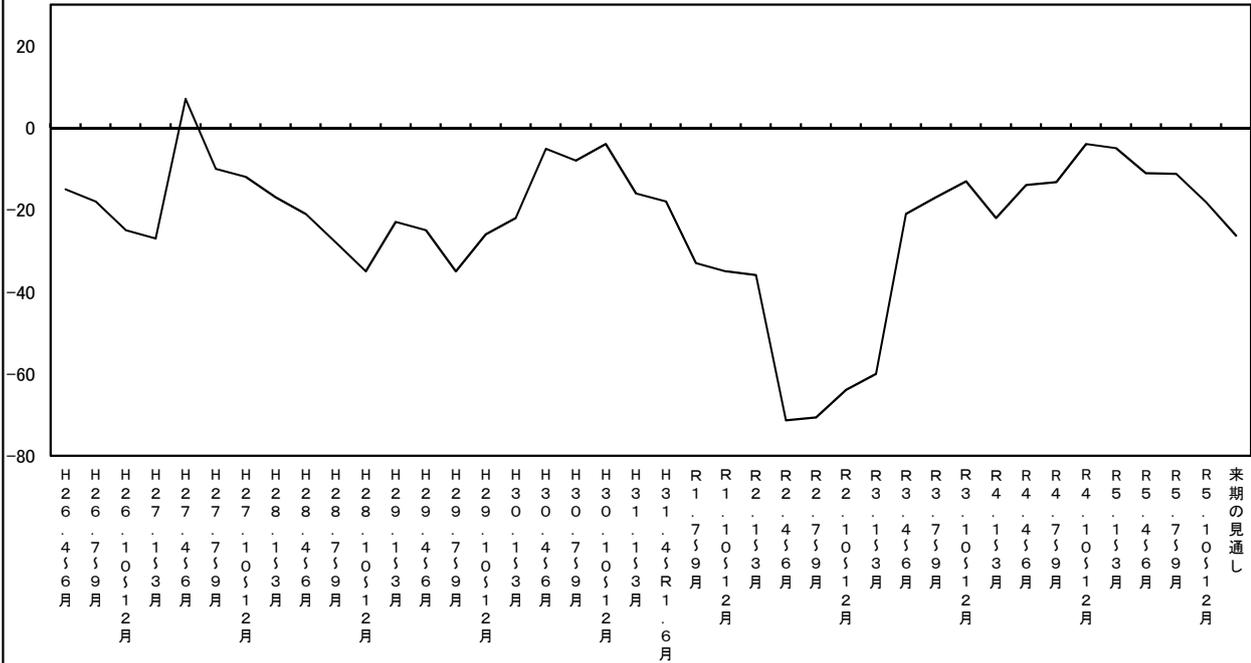
内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
新規参入業者の増加	4
利用者ニーズの変化への対応	21
店舗施設の狭隘・老朽化	9
人件費の増加	30
人件費以外の経費の増加	17
利用料金の低下・上昇難	14
材料等仕入単価の上昇	38
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	23
熟練技術者の確保難	0
需要の停滞	12
その他	0
合 計	175

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -



業 況 DI - 前年同期比 -



売 上 DI - 前年同期比 -

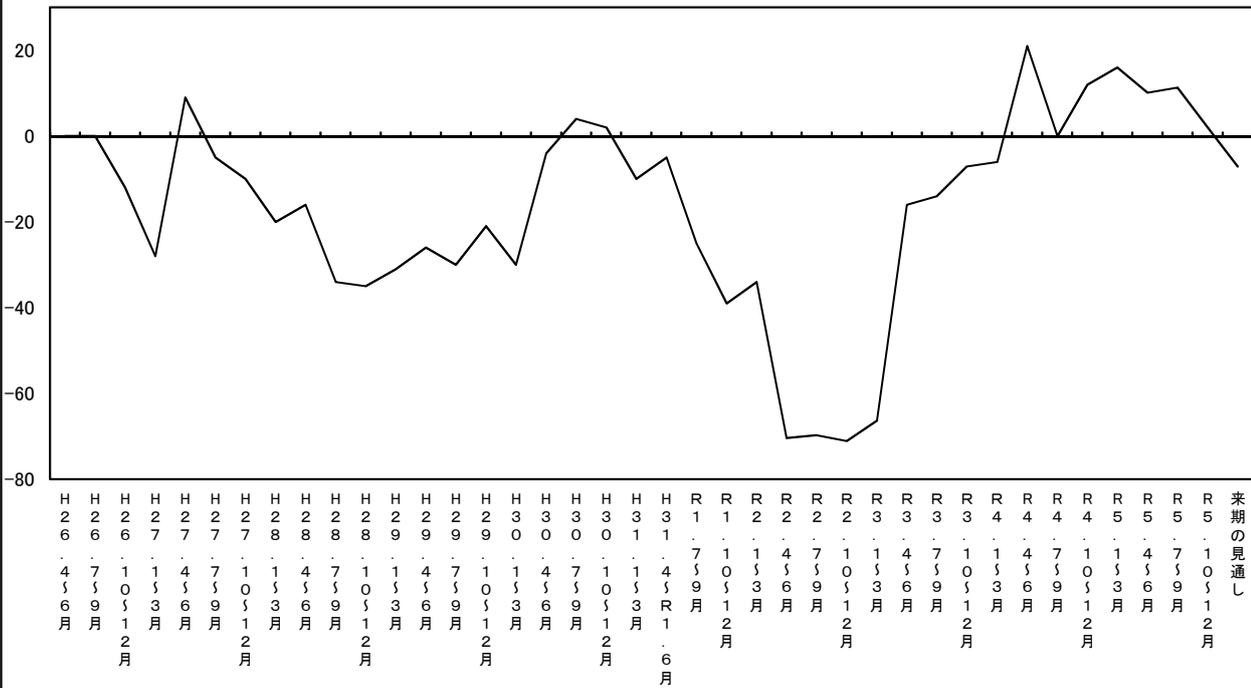


図 4

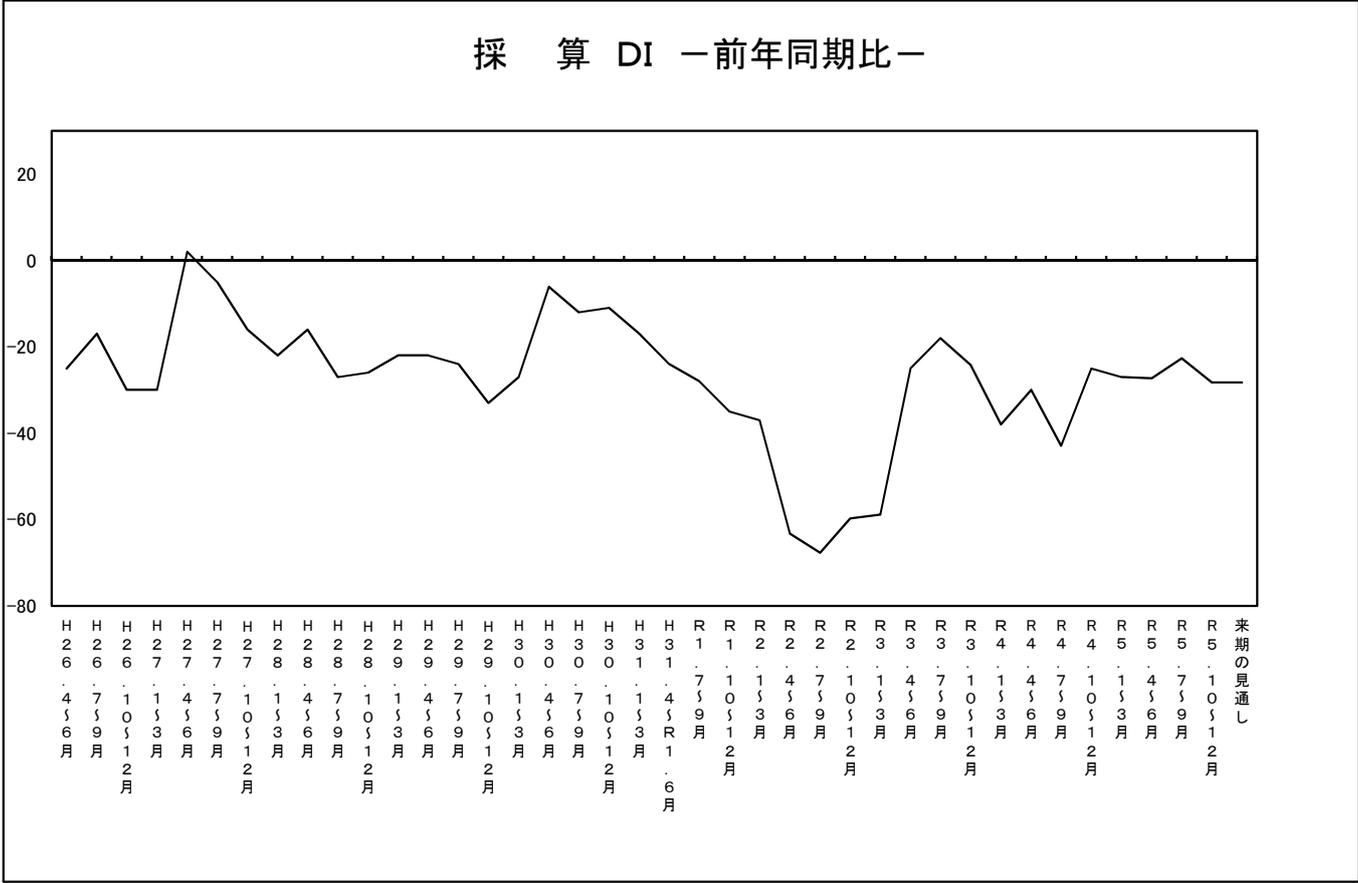
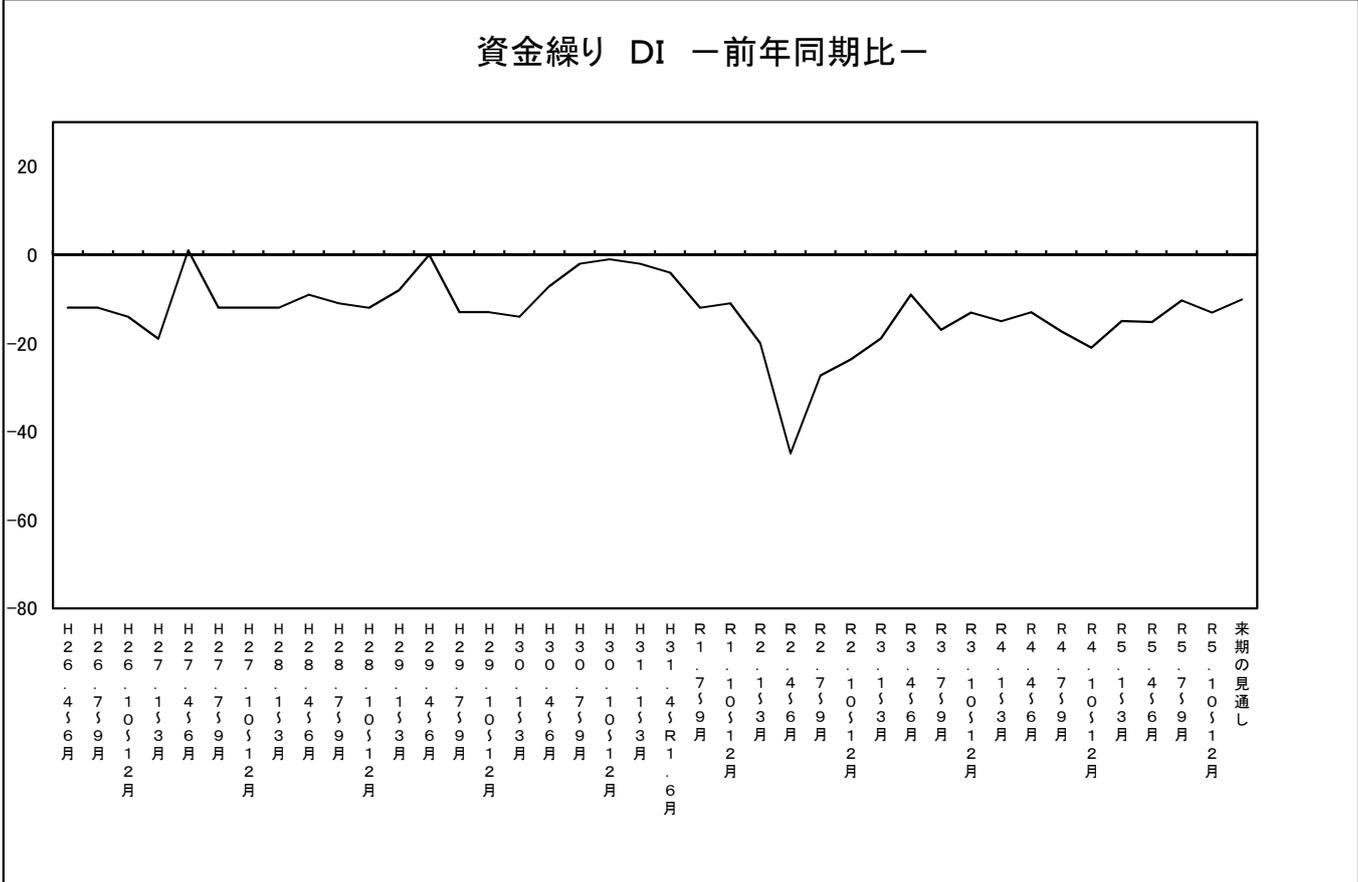


図 5





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp